

とりアートオペラ

ドン・ジョヴァンニ

ロレンツォ・ダ・ポンテ台本 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲

指揮
大勝秀也演出
中村敬一ドン・ジョヴァンニ
谷口 伸レポレット
福嶋 勲ドンナ・アンナ
松田千絵ドン・オッターヴィオ
中川正崇マゼット
山田康之ツェルリーナ
佐々木まゆみドンナ・エルヴィーラ
寺内智子騎士団長区長
小山雅彦人間の生き方と
人間の業がせめぎ合い
勸善懲悪の中で
崩壊していく
ドン・ジョヴァンニ！

指揮 / 大勝秀也

演出 / 中村敬一

演奏 / アザレア室内合奏団
合唱 / とりアートオペラ合唱団

原語上演 (イタリア語・日本語字幕付)

2022
8/28 H
13:00 ~ 開場
13:30 ~ プレトーク
14:00 ~ 開演
17:30 終演

とりぎん文化会館梨花ホール

入場料	指定席 4,000円
	自由席 3,500円
	学生 1,500円 (2,3階自由席) ※大学生以下
	車いす席 3,500円 (6席限定)
	未就学児入場不可 (託児所有予定)

3月1日より指定席先行販売。4月1日より全席発売予定。
(プレイガイド)鳥取地区：とりぎん文化会館・鳥取市文化ホール・鳥取市民会館
中部地区：倉吉未来中心・倉吉市文化活動センター
米子地区：米子市文化ホール
アルテプラザ (米子駅前ショッピングセンター4F)※特定のプレイガイドでのみ取扱いをしているチケットがございます。
●全券種取扱い / とりぎん文化会館・倉吉未来中心・倉吉市文化活動センター
●車いす席 / とりぎん文化会館
●自由席・学生 / 鳥取市文化ホール・鳥取市民会館・米子市文化ホールドン・ジョヴァンニ役に「谷口 伸氏」が出演し
ドイツで活躍の「谷口 伸氏」が輝きを放ちます！
オペラ史上最高傑作が輝きます！主催 / 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会
とりアートオペラ公演実行委員会

主管 / 鳥取オペラ協会

後援 / 鳥取市・鳥取市教育委員会・鳥取市文化団体協議会
倉吉文化団体協議会・朝日新聞鳥取総局
いなびりよんびよんネット・エフエム山陰・FM鳥取
T S Kさんいん中央テレビ・山陰中央新報社
B S S山陰放送・(株)新日本海新聞社
テレビ朝日鳥取支局・日本海テレビ
日本海ケーブルネットワーク・毎日新聞鳥取支局
読売新聞・(公財)鳥取県文化振興財団

【お問い合わせ】

とりアートオペラ公演実行委員会事務局
公式サイト <http://tottori-opera.sakura.ne.jp/>
最新情報をご覧になれます

とりアートオペラ 検索

Tel & Fax 0858-23-6095

E-mail figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp

オペラ ドン・ジョヴァンニ モーツァルト

オペラ「ドン・ジョヴァンニ」への誘い

現代社会は欲望のカオスでありながら、一方では清貧な道徳観が蔓延しています。いつの時代も混沌の世界がはびこっています。そんな中で、ひるむことなく己の心情に忠実に立ち振る舞った中世ヨーロッパ貴族の「ドン・ファン」伝説があります。ドン・ファン物語とは、反道徳だけだったのでしょか。現代でも許されない、ただの女たらしの話だったのでしょか？それとも、己の理想を追求するあまり、流浪の末、地獄に堕ちていくだけの物語だったのでしょか？極悪非道の限りをつくし、地獄に落ちていくこの物語の中に、何かが、私たちに訴えかけてきます。誰でもがひそやかに持つ「渦巻く心の葛藤」、誰でもが体験する、「愛憎の想い」を人生に秘めています。私たちは、地獄に落ちる瀬戸際で立ち止まり、心の平衡をかうじて保っているのかも知れません。そんな疑似体験に誘うものが、今回上演する、オペラ「ドン・ジョヴァンニ」の魅力なのです。



指揮者
大勝 秀也

東京に生まれる。東京音大卒業後、1988年ドイツに渡り、1991年ゲルゼンキルヒェン市立歌劇場第一指揮者、1994年よりボン市立歌劇場第一指揮者。1996年7月よりマルメ歌劇場音楽監督に就任。2006年6月/2007年5月ボリショイ劇場で「トスカ」を公演。2011年12月に金沢、高岡、翌年1月には新国立劇場で、泉鏡花原作、池辺晋一作曲の「高野聖」を初演。2012年10月大阪でフェラーリ作曲のオペラ「イル・カンピエロ」を上演。びわ湖ホールでは、2014年2月に「ホフマン物語」、2014年12月には「天国と地獄」、2015年12月にはドヴォルザーク「ルサルカ」を上演、好評を博した。また、2017年秋には全国共同制作オペラ「トスカ」を指揮、ドイツの薫り豊かな演奏が高く評価されている。現在、昭和音楽大学非常勤講師、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。

はじめ声楽家を志し、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻。後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、「フィガロの結婚」で、高い評価を得、続く二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、2000年3月には新国立劇場での「沈黙」が高く評価される。2001年「ヒロシマのオルフェ」では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。鳥取オペラ協会公演の台本も手がけ、「ボラーノの広場」は注目された。国立音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



演出家
中村 敬一



管弦楽
アザリア室内合奏団

ヴァイオリニスト「辺見康孝」が音楽監督を務めるアザリア音楽祭のメインオーケストラです。山陰を中心としたプロ奏者を厳選し、出し物に応じて編成を変える優れた若手演奏家集団によるオーケストラです。

まず、前段として「ドン・ジョヴァンニ」は、男前で女遊びの激しい人物です。

- 第1幕** ある時、ドン・ジョヴァンニは夜這いをかけているときに、その女性（アンナ）の父親（騎士長）を殺してしまいます。ドン・ジョヴァンニを恨むアンナやエルヴィーラ（かつてジョヴァンニに捨てられた女性）たちは、復讐を誓います。
- 第2幕** ドン・ジョヴァンニは墓地で眠る石像（殺した騎士長の幽霊）に出会い、石像を夕食に招待します。石像たちが改心を求めますが、ドン・ジョヴァンニは心を改める様子が全くありません。すると不思議な力で地面が裂けて、ドン・ジョヴァンニは地獄に落ちていきます。「これぞ悪人の結末！」と皆が歌い、オペラが終わります。

出演者プロフィール

<p>ドン・ジョヴァンニ Baritone 谷口 伸</p> <p>鳥取東高等学校、慶応義塾大学文学部卒。日本音楽コンクール入選を始めとする国内主要コンクール、海外では、国際シューマンコンクール第3位、デビュー・イン・メラン国際コンクール総合優勝等、数々の受賞歴を持つ。1998年よりウィーン国立音楽大学リット・オラトリオ学科に学び、2002年同科を最優秀で卒業。2005年よりゲルリッツ市立劇場、2010年よりツヴィッカウ市立劇場、2018年からはマイニンゲン国立劇場と専属契約を結び、新聞紙上等で常に高い評価を得る。またNHK交響楽団第九演奏会出演等、コンサート歌手としても活躍。</p>	<p>レポレッロ Bass 福嶋 勲</p> <p>オペラ、ミュージカル、シャンソン、歌謡曲、宗教曲や合唱曲のソロなどジャンルを問わず多くの舞台に出演を重ね、著名なオーケストラ、指揮者、音楽家との共演も多い。神戸新人音楽賞優秀賞、摂津音楽祭奨励賞、〈波の会〉日本歌曲コンクール第1位および四重奏女子賞、奏楽堂日本歌曲コンクール第1位および中田喜直賞、藤井清水音楽コンクール最優秀賞ほか多数受賞。2015年度和歌山県由良町文化功労賞受賞。大阪音楽大学ミュージカルコース講師、堺シティオペラアカデミー講師、神戸市混声合唱団コンサートマスター。</p>	<p>ドンナ・アンナ Soprano 松田 千絵</p> <p>鳥取大学教育学部特音課程声楽専攻卒業。白石由美子、藤井文子、中澤 桂、平野弘子の各氏に師事。これまでに鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」「魔笛」「ボラーノの広場」「ドン・ジョヴァンニ」「アマールと夜の訪問者」「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。ヘンデル「メサイア」、J.ラター「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」のソリストをつとめる。鳥取県声楽オーディション審査員特別賞奨励賞、第16回日本声楽コンクール入選。鳥取オペラ協会理事、コールおもかげ、こーらすの会指揮者。</p>	<p>騎士団管区長 Bass 小山 雅彦</p> <p>岡山大学工学部卒業。岡山大学大学院工学部修了。合唱団優等に所属。中国二期会公演「笠地蔵」、鳥取オペラ協会公演「ボラーノの広場」「アマールと夜の訪問者」に合唱参加。TOTTORI LIVE YELLの「クラシック×演劇」第2部にドン・ジョヴァンニの騎士長役に参加。</p>
<p>ドン・オッターヴィオ Tenor 中川 正崇</p> <p>大阪音楽大学大学院オペラ研究室、新国立劇場オペラ研究所第8期研修生を修了。文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員としてイタリア・フィレンツェへ留学。「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオで、オペラ・デビュー。「愛の妙薬」ネモリーノ、「ドン・パスクワレ」エルネスト、「清教徒」アルトゥーロ、「精姫」アルフレード、「魔笛」タミーノなど多数のオペラに出演。第二回「日本のうたコンクール」第一位。西垣俊朗氏、渡邊弓子氏に師事。大阪音楽大学講師。神戸音楽家協会、西宮音楽協会、東京二期会、関西歌曲研究会、各会員。</p>	<p>ドンナ・エルヴィーラ Soprano 寺内 智子</p> <p>大阪音楽大学音楽専攻声楽専攻を修了後イタリアへ留学。同地でオペラ「ラ・ボエーム」ミミ役、「カプレーチア」とモンテッキ家「ジュリエッタ」役を好む好評を得る。オペラでは「フィガロの結婚」「愛の妙薬」「魔笛」「エフゲニー・オネーギン」「ハンゼルとグレーテル」他に出演。第九、メサイア、レクイエムのソリストも務める。第29回イタリア声楽コンクール金賞、第20回飯塚新人音楽コンクール文部大臣賞等多数受賞。大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団とも共演。天野春美、E.ラッティーニ各氏に師事。鳥取オペラ協会副会長、鳥取市民合唱団ボイストレーナー。</p>	<p>ツェルリーナ Soprano 佐々木 まゆみ</p> <p>昭和音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学音楽専攻科首席修了。修了時学長賞受賞。「バステリアンとバステリアンヌ」、「フィガロの結婚」、「イソップ物語」、「春香」、「魔笛」などに出演。その他、第九ソリストやソロリサイタル等で精力的に活躍中。2006年よりアザリア音楽祭出演している。これまでに生原幸枝、越賀理恵、田野崎加代、田島祥恒、平野弘子各氏に師事。とっりの芸術宅配便講師、Meary'sメンバー、鳥取オペラ協会会員。</p>	<p>マゼット Baritone 山田 康之</p> <p>鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋氏に師事。1996年、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子うさぎましろのお話」に出演。1998年、アザリアのまじ音楽祭パリソン・ソロコンサートに出演。オペラ出演はこれまで「コシ・ファン・トゥッテ」のグレイエル役、「フィガロの結婚」では二度のタイトルロールを歌い、「魔笛」では「パパゲーノ」役をこなした。国民文化祭とつとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演においてテロモ役を歌い高い評価を得てきている。「アマールと夜の訪問者」でメルキオール役、「こーらす」でアイゼンシュタイン役を歌い好評を博した。現在、赤碓小学校に勤務。鳥取オペラ協会理事。</p>